

悪い物価上昇

ゴールデンウィークもあっという間に過ぎ、新緑のきれいな季節となりました。プロ野球では、阪神タイガースがセリーグの首位を快走しています。そのタイガースを支える不動の4番バッターは金本選手です。先日2000本安打を達成し、400本塁打も40歳にして過去最高齢で達成しました。さらに、只今連続フルイニング出場の世界記録を更新中です。

その金本選手の先日の対巨人戦での出来事です。相手投手から後頭部にデットボールを受け、ひっくり返って頭を抱える姿に、多くのファンや関係者がこの日で1219試合となった連続フルイニング出場が途切れてしまうのか！と覚悟をしたことと思います。ところが、ベンチで軽い手当てを受け、何事もなかった様に元気に1塁ベースへと走っていき、多くのファンから割れんばかりの拍手を受けました。

ここからがさらにすごい！次の打席では、ライトスタンドに突き刺さる弾丸ライナーのホームランを打ち、バットで充分なお返しをしました。普通はデットボールを受けた直後は、恐怖心が残り、踏み込んでいくことは難しいのですが・・・。

翌日の試合前にデットボールを当てた相手投手が金本選手に謝罪に行った際に返した言葉が「気にせず思い切って投げてこいや！」。なんと、懐の深い感動的な言葉でしょうか。金本選手は、強打者がゆえに内角ののけぞるような投球を受けることが多いのですが、デットボールを当てられた時でも相手投手を睨んだ姿をみたことがありません。この器の大きさが「アニキ」と慕われる所以かもしれません。強靱な肉体に強靱な精神力を備えた真の「鉄人」の姿に感動しました。

さて、話はコロッと変わって、5月から予定通りガソリン価格が値上がりしました。リッター当たり約30円の値上がりとなり、4月末には駆け込みの長い車の列がガソリンスタンドに出来ていました。税率の引き上げに伴う値上げは25円ですが、後の5円は原油の値上がりに伴うもので、その原油は1年間で80%もの値上げとなっているそうです。

主な原材料の上昇率は、鉱物資源では、石炭が4年で5.5倍、鉄鉱石が4年で3.7倍、食品では、小麦が3年で3.5倍、大麦が2年で2.5倍、大豆が3年で2.5倍、トウモロコシが3年で3倍と、すさまじいまでの値上げラッシュです。企業は合理化などでこれらの原料高をある程度は吸収していますが、それも限界があり、最終製品の価格にも転嫁されて消費者にも大きく影響が及んでいます。

これらの資源高の最大の要因は中国やインドなどの新興国の爆発的な需要拡大だそうです。さらに、原油や穀物は、投機マネー流入が値上げに拍車をかけています。投機的な値上がりはいずれ反動で値下がりする可能性があります。新興国の需要は今後も続くでしょうし、益々拡大する可能性もあります。そう考えれば、原材料高は今後も継続する可能性が高いといえます。このコスト上昇に伴う物価上昇は、賃金水準が伸び悩む中で消費者の買い控えを誘い、さらに企業収益の悪化を招く、悪循環となる「悪い物価上昇」と言われます。

スーパーでラーメンなどの価格を見ると、ブランド品とスーパーが独自に製造しているプライベートブランド品(PB)では倍近い金額の差があります。PBの安い価格の秘密は、ブランド品のように広告費や開発費をあまりかけていないことだそうです。そういえば、テレビコマーシャルではたった15秒で数千万円もの広告費を使っていることを考えると、その分が価格に乗っかる訳ですから、割高なものなはずけす。ある経済雑誌が調査すると、質や味の差はさほどないとのことで、コストパフォーマンス(費用対効果)は高いそうです。我が家も、最近はPB商品を意識して買うようにし、節約しています。